

令和元年長崎市観光統計

【確定版】



長崎フォトフェスティバル 2019 優秀賞

長 崎 市

・観光客数

長崎市への観光客数は、長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。

長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの観光客割合を考慮して推計している。

・宿泊客数・日帰り客数

宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の観光客数から宿泊客数を減じて算出している。

・個人客数・団体客数(一般・学生)

団体客数(一般・学生)は市内主要観光施設における団体客数(一般・学生)の前年比伸び率を基に推計しており、個人客数については全体の観光客数から団体客数を減じて算出している。

・外国人延べ宿泊客数(国・地域別)

市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計(MICE件数・MICE参加人員)

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。

・観光消費額・経済波及効果

一般観光客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の観光客数に乗じて算出している。

学生観光客の観光消費額は、「教育旅行年報」(日本修学旅行協会発行)における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の観光客数に乗じて算出している。

また、経済波及効果については、「長崎県産業連関表(平成27年)」に基づき長崎県内への経済波及効果を算出している。

目 次

| | | |
|----------|---------------------|----|
| 1 | 令和元年の観光動向 | 1 |
| 2 | 観光統計総括表 | 5 |
| 3 | 観光客数・観光消費額の推移 | 6 |
| 4 | 月別観光客数 | 8 |
| 5 | 宿泊客・日帰り客の推移 | 9 |
| 6 | 個人客・団体客の推移 | 10 |
| 7 | 交通機関別観光客数の推移 | 11 |
| 8 | クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数 | 12 |
| 9 | 外国人延べ宿泊者数の推移 | 14 |
| 10 | 国・地域別外国人延べ宿泊者数 | 15 |
| 11 | MICE統計 | 17 |
| 12 | 経済波及効果 | 21 |
| — 参考資料 — | | |
| 1 | 観光客数の推移 | 23 |
| 2 | 主要観光施設の入場者数 | 24 |
| 3 | 主要イベントの集客数及び経済波及効果 | 24 |
| 4 | 宿泊施設の状況 | 25 |

1 令和元年の観光動向

(1) 全国の観光動向

| | | | |
|-------------------------|------------|--------------|--------------|
| 日本人国内旅行消費額 | | | |
| 21兆9,312億円 | 前年比7.1%増 | (1兆4,478億円増) | |
| ① 宿泊旅行 | 17兆1,560億円 | 前年比8.6%増 | (1兆3,520億円増) |
| ② 日帰り旅行 | 4兆7,752億円 | 前年比2.0%増 | (958億円増) |
| 日本人国内延べ旅行者数 | | | |
| 5億8,710万人 | 前年比4.5%増 | (2,532万人増) | |
| ① 宿泊旅行 | 3億1,162万人 | 前年比7.1%増 | (2,057万人増) |
| ② 日帰り旅行 | 2億7,548万人 | 前年比1.8%増 | (475万人増) |
| 日本人国内旅行1人あたり旅行単価 | | | |
| 37,355円 | 前年比2.4%増 | (893円増) | |
| ① 宿泊旅行 | 55,054円 | 前年比1.4%増 | (754円増) |
| ② 日帰り旅行 | 17,334円 | 前年比0.3%増 | (49円増) |

日本人の国内旅行消費額は、前年比7.1%増(1兆4,478億円増)の21兆9,312億円であった。日本人の国内延べ旅行者数は、宿泊旅行が前年比7.1%増(2,057万人増)の3億1,162万人、日帰り旅行が前年比1.8%増(475万人増)の2億7,548万人で、全体として前年比4.5%増(2,532万人増)となり、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価は前年比2.4%増(893円増)の3万7,355円となった。

(出典)観光庁「旅行・観光消費動向調査」2019年年間値(確報)

【参考】

・台風発生数等

| | 令和元年 | 平成30年 | 平年値 |
|---------|------|-------|------|
| 台風発生数 | 29 | 29 | 25.6 |
| 台風上陸数 | 5 | 5 | 2.7 |
| 全国接近数 | 15 | 16 | 11.4 |
| 九州北部接近数 | 5 | 8 | 3.2 |

(出典)気象庁「2019年(平成31年・令和元年)の台風について」

訪日外客数

3,188万2,100人 前年比2.2%増(約69万人増)

令和元年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年比2.2%増(約69万人増)の3,188万2,100人と過去最高となった。これは、8月以降の韓国市場が半減する状況が続いたものの、東アジアのその他3市場及び東南アジア市場主要市場において、新規就航や増便等による航空座席供給量が増加したこと、欧米豪市場については桜やラグビーワールドカップ2019日本大会の開催を契機とした訪日需要の高まりによるものである。

(出典)日本政府観光局(JNTO)「2019年年間推計値」

外国人延べ宿泊者数

1億143万4,710人泊 前年比7.6%増(約716万人泊増)

外国人延べ宿泊者数は、前年比7.6%増(約716万人増)の1億143万4,710人と過去最高となった。

また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国(約2,689万人泊、シェア29.6%)で、第2位以下は台湾(約1,237万人泊、シェア13.6%)、韓国(約895万人泊、シェア9.9%)、香港(約640万人泊、シェア7.1%)、アメリカ(638万人泊、シェア7.0%)と続き、上位5か国・地域で全体の約67%を占める。

※国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で9,070万7,660人泊となっている。

(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査(令和元年年間値(速報))」

訪日外国人旅行消費額

4兆8,135億円 前年比6.5%増(2,946億円増)

訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出

15万8,531円 前年比3.6%増(5,502円増)

訪日外国人の旅行消費額は、前年比6.5%増(2,946億円増)の4兆8,135億円と年間値の過去最高となり、1人当たりの旅行支出も前年比3.6%増(5,502円増)の15万8,531円と増加した。

国籍・地域別の旅行消費額では、中国が最も高く(1兆7,704億円、シェア36.8%)、次いで台湾(5,517億円、シェア11.5%)、韓国(4,247億円、シェア8.8%)、香港(3,525億円、シェア7.3%)、アメリカ(3,228億円、シェア6.7%)の順となっており、上位5か国・地域で全体の71.1%を占める。

1人当たり旅行支出は、オーストラリアが最も高く(24万8千円)、次いでイギリス(24万1千円)、フランス(23万7千円)の順で高い。

(出典)観光庁「2019年の訪日外国人旅行消費額(確報)」

(2) 長崎市の観光動向

| 観光客数 | | | |
|-------------------|------------|--------------|-------------------------|
| 691万7,800人 | 前年比2.0%減 | (13万7,600人減) | |
| ① 宿泊客数 | 270万5,200人 | 前年比 1.5%増 | (3万9,600人増) |
| 日帰り客数 | 421万2,600人 | 前年比 4.0%減 | (17万7,200人減) |
| ② 個人客数 | 619万1,200人 | 前年比 0.2%減 | (1万1,700人減) |
| 団体客数 | 72万6,600人 | 前年比 14.8%減 | (12万5,900人減) |
| 一般団体客数 | 45万7,200人 | 前年比18.8%減 | (10万6,100人減) |
| 学生団体客数(修学旅行生) | 26万9,400人 | 前年比 6.8%減 | (1万9,800人減) |
| 外国人延べ宿泊客数 | | | |
| 32万3,306人泊 | 前年比5.6%増 | (1万7,287人泊増) | |
| クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数 | | | |
| 入港数 | 183隻 | 前年比16.8%減 | (37隻減) |
| 乗客・乗務員数 | 73万2,538人 | 前年比21.7%減 | (約20.3万人減) |
| 国内クルーズ船 | 入港数 | 4隻 | 前年比100% (前年と同数) |
| | 乗客・乗務員数 | 3,272人 | 前年比19.1%増 (524人増) |
| 国際クルーズ船 | 入港数 | 179隻 | 前年比17.1%減 (37隻減) |
| | 乗客・乗務員数 | 72万9,266人 | 前年比21.9%減 (約20.4万人減) |

| 観光消費額 | | | |
|-----------------|-----------|-----------|---------|
| 1,491億8,970万円 | 前年比 0.3%減 | (約5億円減) | |
| 経済波及効果(長崎県内) | | | |
| 2,117億円 | 前年比 7.6%減 | (約175億円減) | |
| 観光客1人あたり市内観光消費額 | | | |
| 平均 | 21,566円 | 前年比 1.6%増 | (350円増) |
| 宿泊客 | 31,755円 | 前年比 2.4%増 | (743円増) |
| 日帰り客 | 15,023円 | 前年比 1.6%減 | (245円減) |

令和元年の長崎市の観光客数は前年比2.0%減(13万7,600人減)の691万7,800人で、過去3番目に多い観光客数となった。

このうち日帰り客数は前年比4.0%減(17万7,200人減)の421万2,600人と前年を下回ったものの、宿泊客数は前年比1.5%増(3万9,600人増)の270万5,200人と前年を上回った。

また、旅行形態別にみると、個人客数が前年比0.2%減(1万1,700人減)の619万1,200人、団体客数が前年比14.8%減(12万5,900人減)の72万6,600人となった。

外国人延べ宿泊客数については、前年比5.6%増(1万7,287人泊増)の32万3,306人泊となり、過去2番目に多い宿泊客数となった。国・地域別に見ると、上位3つの国・地域は韓国、中国、

香港であり、これらの占有率は約47%で、前年(約61%)から減少したものの、アジア地域で全体の約70%を占めている。

令和元年の観光消費額は、前年比約5億円減(0.3%減)の1,491億8,970万円で過去2番目に高い結果となった。また、長崎県内への経済波及効果については、前年比175億円減(7.6%減)の2,117億円となった。

以上の観光動向に影響を与えた要因を以下のとおり分析した。

【減の要因】

■ クルーズ客船の入港隻数減少

長崎港へのクルーズ客船の入港実績は、前年比16.8%減(37隻減)の183隻となり、那覇港(260隻)、博多港(229隻)、横浜港(188隻)に次ぐ全国第4位(前年第3位)に後退し、乗客・乗務員数は、前年比21.7%減(20万3,508人減)の73万2,538人となった。

これは、全体の約90%を占めていた中国クルーズ市場において、乗客・乗務員数が前年比26.7%減(16万7,685人減)の46万104人に大きく減少したことによるもので、中国クルーズ市場は、平成30年以降、急拡大後の調整局面に入り、クルーズ配船量が減少したものとみられている。これにより中国は全体の約84.0%となった。また、アジア地域は全体の約92.3%を占めている。

■ 相次ぐ自然災害の発生

8月、9月に発生した台風や8月下旬の記録的大雨「令和元年8月の前線に伴う大雨(令和元年九州豪雨)」等の影響により、屋外型施設の利用者減や旅行キャンセルが発生した。また、台風被害により端島(軍艦島)見学施設の上陸を停止した。

■ 韓国人観光客の減少

4月以降のソウル直行便の運休や7月以降の日韓情勢の悪化に伴う訪日旅行控えにより、韓国の延べ宿泊者数が前年比40.9%減(4万421人泊減)の5万8,454人泊に大きく減少した。

【増の要因】

■ 香港直行便の就航

1月からの香港直行便の就航により、香港の延べ宿泊者数が前年比190.5%増(2万5,355人泊増)の3万8,667人泊に大きく増加した。

■ ローマ教皇の来崎

ローマ教皇の来崎に伴い、11月24日に長崎ビッグNスタジアムで挙げられたミサには約3万人(市民含む)が参加した。また、ローマ教皇のメッセージによって注目を集めた「焼き場に立つ少年」が展示されている長崎原爆資料館の集客数が大きく増加した。

■ ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催

大会の開催により、試合の会場県(福岡・熊本・大分)からの来訪が増加したと思われ、イギリスの延べ宿泊者数が前年比53.5%増(2,638人泊増)の7,565人泊、オーストラリアが前年比30.1%増(1,871人泊増)の8,083人泊と大きく増加している。

■ 宿泊客数の増加による観光消費額の増加

過去2番目に多い98万人の集客を記録したランタンフェスティバルや出島や平和公園ライトアップなどの宿泊滞在型観光の取組み等により、宿泊客数は、前年比1.5%増(3万9,600人増)の270万5,200人となった。

観光消費額についても、観光客数は減少したものの、宿泊客の観光消費単価が前年比2.4%増(743円増)の3万1,755円となったことで、過去2番目に高い、対前年比0.3%減(約5億円減)の1,492億円となった。

2 観光統計総括表

【単位：人、億円、％】

| | | 平成30年 | 令和元年 | 令和元年 | |
|--------|-------|-----------|-----------|-------|--------|
| | | | | 構成比 | 前年比増減 |
| 観光客数 | | 7,055,400 | 6,917,800 | 100.0 | ▲ 2.0 |
| 宿泊の有無別 | 宿泊客数 | 2,665,600 | 2,705,200 | 39.1 | 1.5 |
| | 日帰り客数 | 4,389,800 | 4,212,600 | 60.9 | ▲ 4.0 |
| 旅行形態別 | 個人客数 | 6,202,900 | 6,191,200 | 89.5 | ▲ 0.2 |
| | 団体客数 | 852,500 | 726,600 | 10.5 | ▲ 14.8 |
| | 一般 | 563,300 | 457,200 | 6.6 | ▲ 18.8 |
| | 学生 | 289,200 | 269,400 | 3.9 | ▲ 6.8 |
| 交通機関別 | J R | 1,236,000 | 1,323,300 | 19.1 | 7.1 |
| | 自動車 | 3,979,400 | 3,926,200 | 56.8 | ▲ 1.3 |
| | 船舶 | 1,098,200 | 897,700 | 13.0 | ▲ 18.3 |
| | 航空機 | 741,800 | 770,600 | 11.1 | 3.9 |
| 観光消費額 | | 1,497 | 1,492 | | ▲ 0.3 |
| 経済波及効果 | | 2,292 | 2,117 | | ▲ 7.6 |

3 観光客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

| 年 | 観光客数 | | 観光消費額 | |
|-------|-----------|----------------|-------------|-------------------|
| | | 前年比増減 | | 前年比増減 |
| 平成17年 | 5,393,500 | 458,800 9.3 | 72,150,208 | 4,106,897 6.0 |
| 平成18年 | 5,699,300 | 305,800 5.7 | 77,721,719 | 5,571,511 7.7 |
| 平成19年 | 5,640,900 | ▲ 58,400 ▲ 1.0 | 77,422,055 | ▲ 299,664 ▲ 0.4 |
| 平成20年 | 5,559,500 | ▲ 81,400 ▲ 1.4 | 75,890,453 | ▲ 1,531,602 ▲ 2.0 |
| 平成21年 | 5,585,600 | 26,100 0.5 | 75,101,615 | ▲ 788,838 ▲ 1.0 |
| 平成22年 | 6,108,300 | 522,700 9.4 | 110,880,935 | 35,779,320 47.6 |
| 平成23年 | 5,944,700 | ▲163,600 ▲ 2.7 | 109,766,697 | ▲ 1,114,238 ▲ 1.0 |
| 平成24年 | 5,952,900 | 8,200 0.1 | 115,446,919 | 5,680,222 5.2 |
| 平成25年 | 6,078,000 | 125,100 2.1 | 120,320,106 | 4,873,187 4.2 |
| 平成26年 | 6,306,800 | 228,800 3.8 | 124,323,000 | 4,002,894 3.3 |
| 平成27年 | 6,693,800 | 387,000 6.1 | 136,834,458 | 12,511,458 10.1 |
| 平成28年 | 6,723,500 | 29,700 0.4 | 131,378,500 | ▲5,455,958 ▲ 4.0 |
| 平成29年 | 7,077,700 | 354,200 5.3 | 145,846,150 | 14,467,650 11.0 |
| 平成30年 | 7,055,400 | ▲ 22,300 ▲ 0.3 | 149,689,454 | 3,843,304 2.6 |
| 令和元年 | 6,917,800 | ▲137,600 ▲ 2.0 | 149,189,702 | ▲ 499,752 ▲ 0.3 |

※ 観光消費額は、平成22年から次のとおり基礎数値を見直して算定している。

(旧)平成12年度の一泊宿泊時の平均消費額 (新)連泊を考慮した宿泊客全体の平均消費額

図1 観光客数・観光消費額の推移

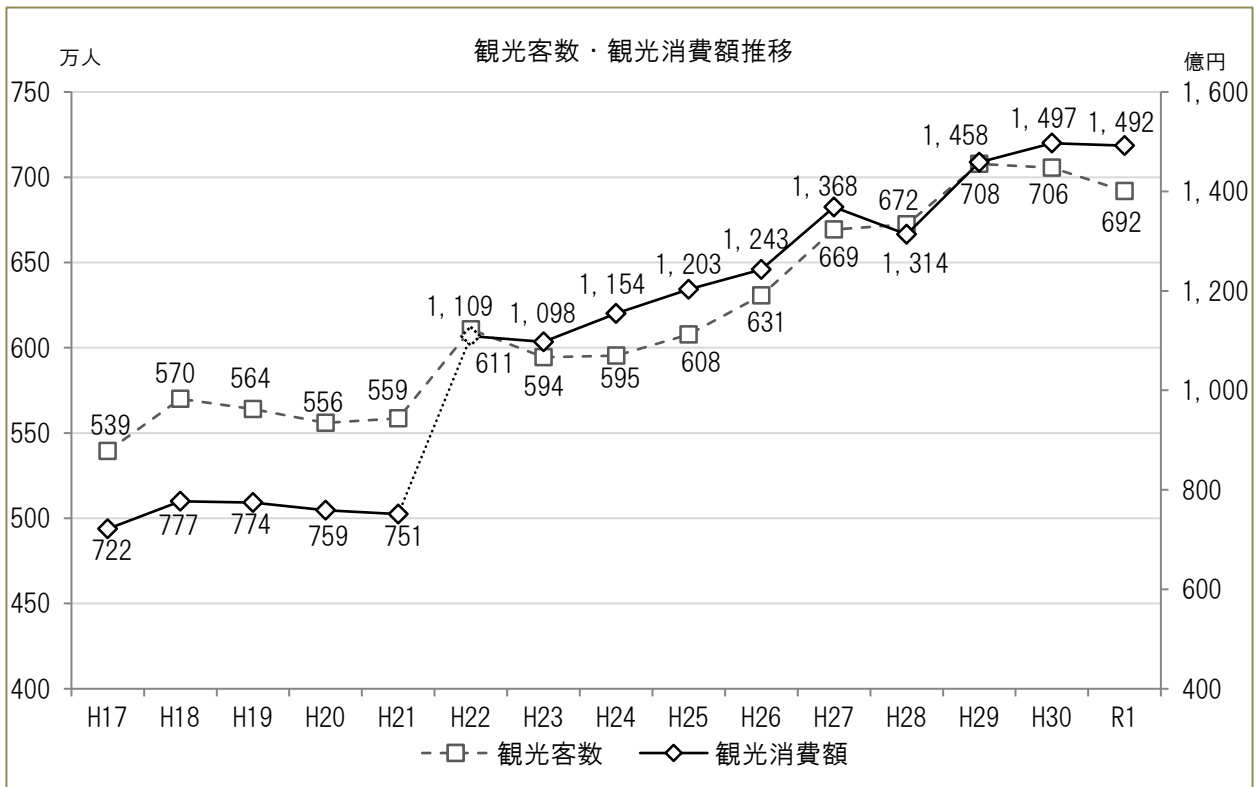
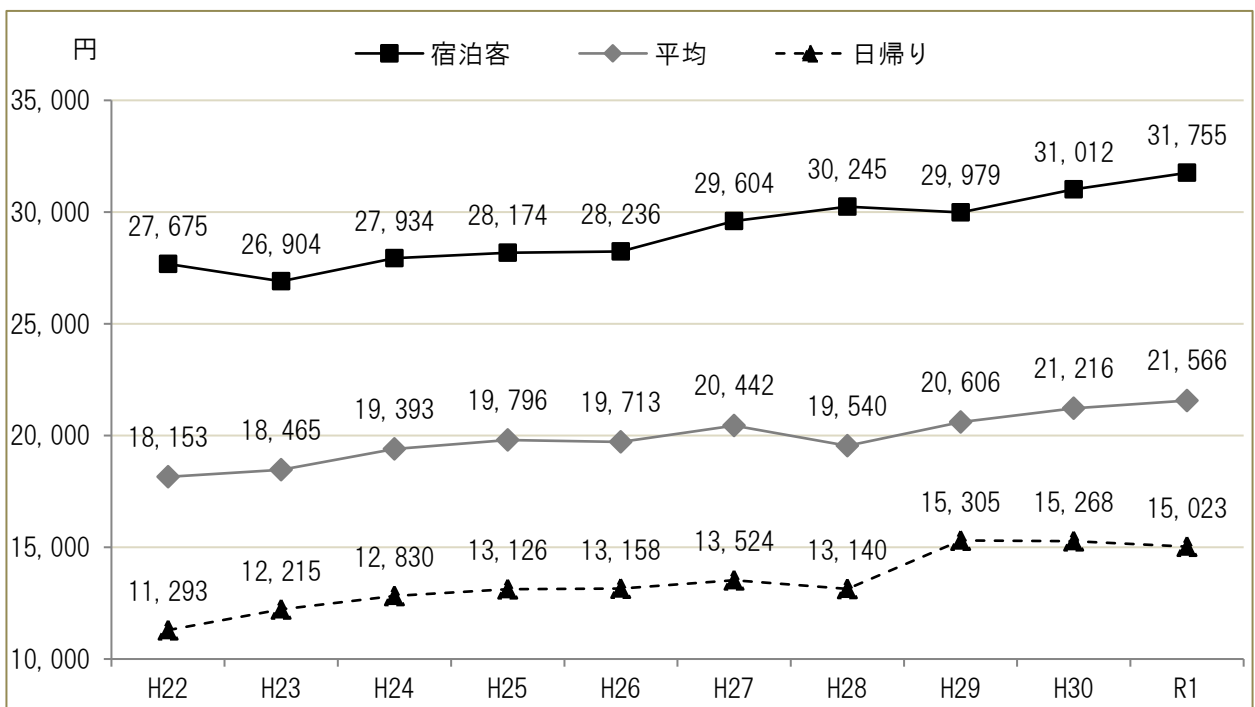


図2 平均観光消費単価の推移

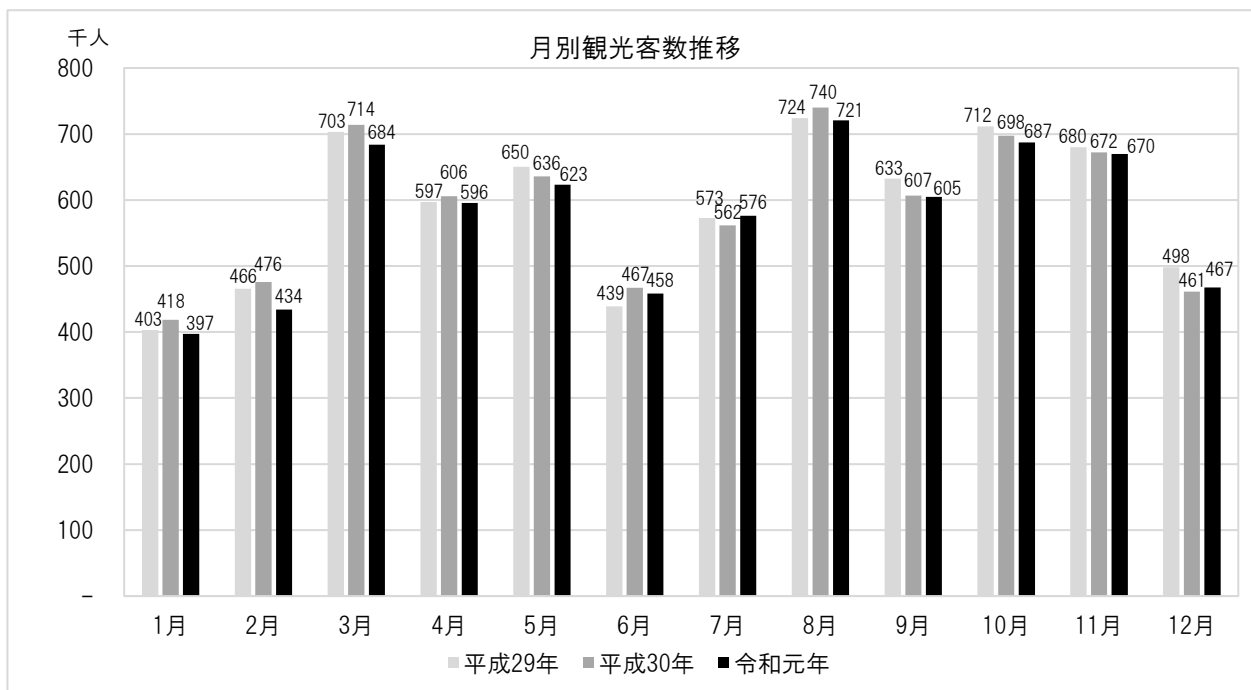


4 月別観光客数

【単位：人、％】

| 月 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| | | | | 構成比 | 前年比増減 |
| 1月 | 403,100 | 418,300 | 397,200 | 5.7 | ▲ 5.0 |
| 2月 | 465,600 | 476,000 | 433,900 | 6.3 | ▲ 8.8 |
| 3月 | 703,400 | 713,700 | 683,700 | 9.9 | ▲ 4.2 |
| 4月 | 597,200 | 605,900 | 595,500 | 8.7 | ▲ 1.7 |
| 5月 | 650,200 | 635,600 | 623,200 | 9.0 | ▲ 2.0 |
| 6月 | 439,100 | 467,000 | 458,400 | 6.6 | ▲ 1.8 |
| 7月 | 572,600 | 561,500 | 576,300 | 8.3 | 2.6 |
| 8月 | 724,300 | 740,000 | 720,500 | 10.4 | ▲ 2.6 |
| 9月 | 632,500 | 606,500 | 604,800 | 8.7 | ▲ 0.3 |
| 10月 | 711,500 | 697,500 | 687,400 | 9.9 | ▲ 1.4 |
| 11月 | 680,100 | 672,000 | 669,600 | 9.7 | ▲ 0.4 |
| 12月 | 498,100 | 461,400 | 467,300 | 6.8 | 1.3 |
| 計 | 7,077,700 | 7,055,400 | 6,917,800 | 100.0 | ▲ 2.0 |

図3 月別観光客数の推移

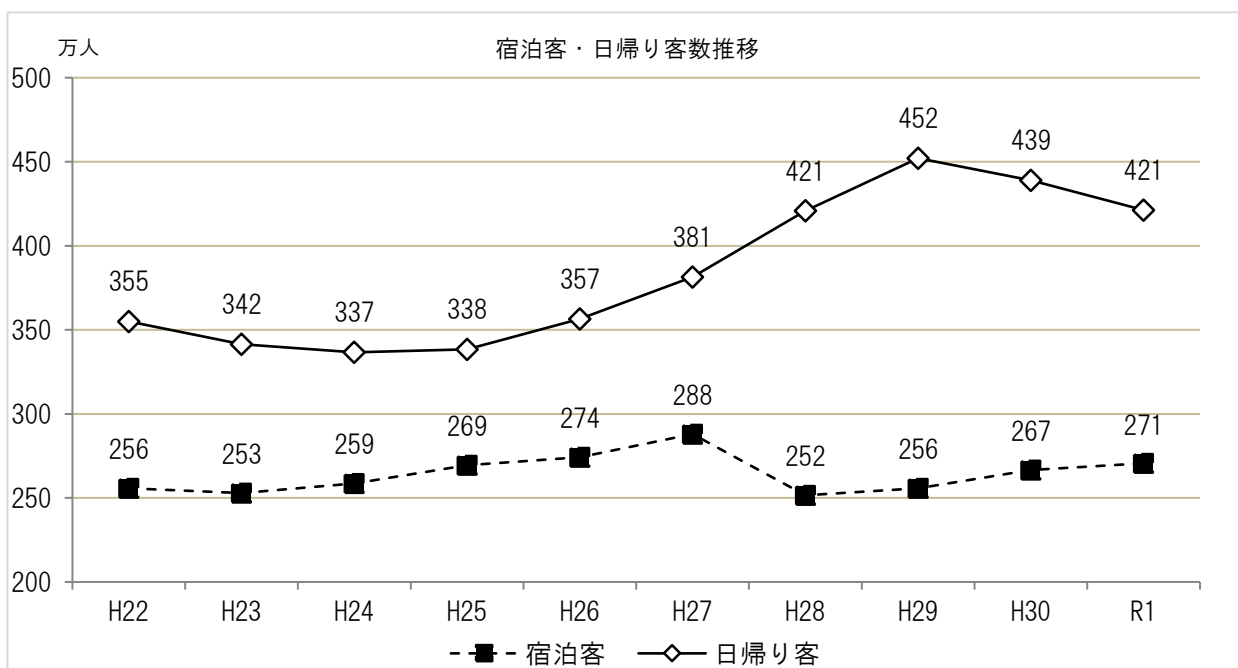


5 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

| 年 | 宿泊客 | | | 日帰り客 | | |
|-------|-----------|------|-------|-----------|------|-------|
| | 人数 | 構成比 | 前年比増減 | 人数 | 構成比 | 前年比増減 |
| 平成17年 | 2,311,400 | 42.9 | 2.6 | 3,082,100 | 57.1 | 15.0 |
| 平成18年 | 2,533,600 | 44.5 | 9.6 | 3,165,700 | 55.5 | 2.7 |
| 平成19年 | 2,521,500 | 44.7 | ▲0.5 | 3,119,400 | 55.3 | ▲1.5 |
| 平成20年 | 2,460,100 | 44.3 | ▲2.4 | 3,099,400 | 55.7 | ▲0.6 |
| 平成21年 | 2,401,700 | 43.0 | ▲2.4 | 3,183,900 | 57.0 | 2.7 |
| 平成22年 | 2,557,700 | 41.9 | 6.5 | 3,550,600 | 58.1 | 11.5 |
| 平成23年 | 2,529,300 | 42.5 | ▲1.1 | 3,415,400 | 57.5 | ▲3.8 |
| 平成24年 | 2,586,800 | 43.5 | 2.3 | 3,366,100 | 56.5 | ▲1.4 |
| 平成25年 | 2,694,100 | 44.3 | 4.1 | 3,383,900 | 55.7 | 0.5 |
| 平成26年 | 2,741,500 | 43.5 | 1.8 | 3,565,300 | 56.5 | 5.4 |
| 平成27年 | 2,879,800 | 43.0 | 5.0 | 3,814,000 | 57.0 | 7.0 |
| 平成28年 | 2,515,700 | 37.4 | ▲12.6 | 4,207,800 | 62.6 | 10.3 |
| 平成29年 | 2,556,900 | 36.1 | 1.6 | 4,520,800 | 63.9 | 7.4 |
| 平成30年 | 2,665,600 | 37.8 | 4.3 | 4,389,800 | 62.2 | ▲2.9 |
| 令和元年 | 2,705,200 | 39.1 | 1.5 | 4,212,600 | 60.9 | ▲4.0 |

図5 宿泊客・日帰り客の推移

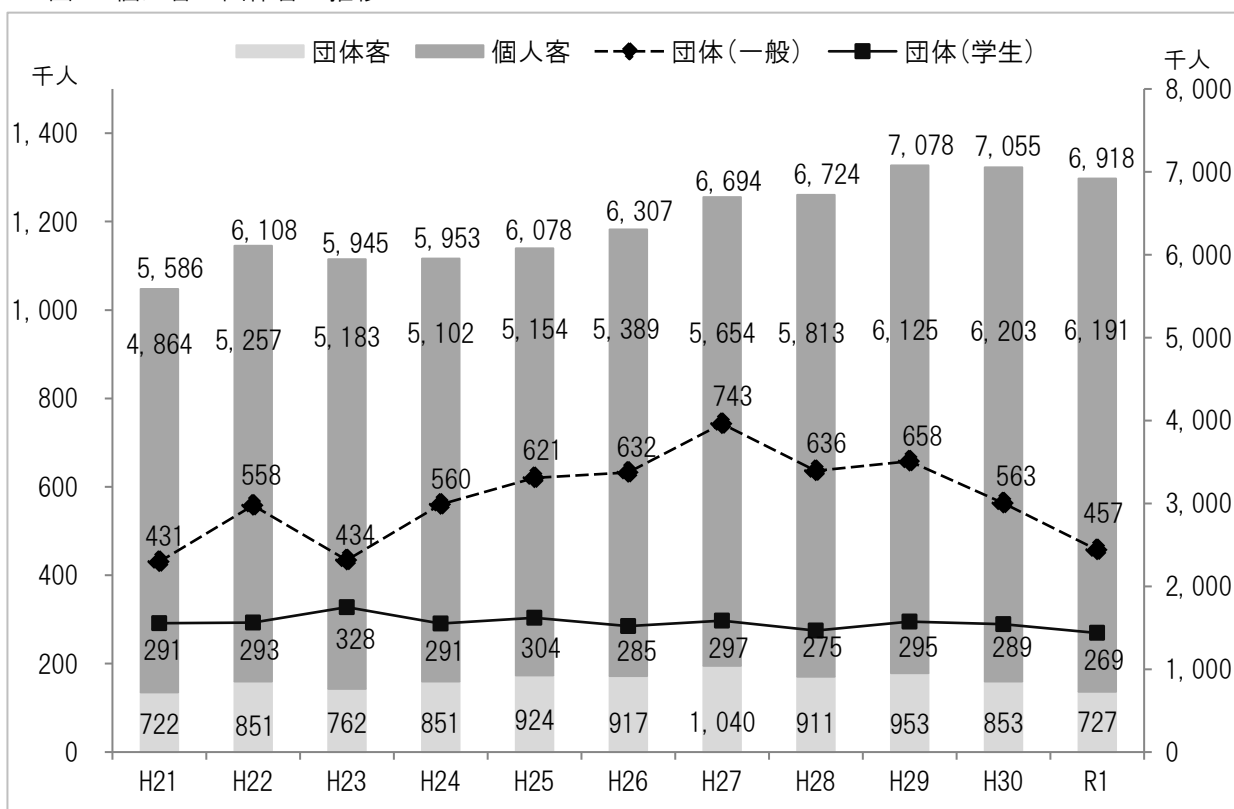


6 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

| 年 | 個人客 | | 団体客 | | 一般 | | 学生 | |
|-------|-----------|-------|-----------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 人数 | 前年比増減 | 人数 | 前年比増減 | 人数 | 前年比増減 | 人数 | 前年比増減 |
| 平成17年 | 4,624,300 | 10.1 | 769,200 | 4.8 | 480,500 | 10.4 | 288,700 | ▲3.3 |
| 平成18年 | 4,889,300 | 5.7 | 810,000 | 5.3 | 533,000 | 10.9 | 277,000 | ▲4.1 |
| 平成19年 | 4,839,000 | ▲1.0 | 801,900 | ▲1.0 | 535,500 | 0.5 | 266,400 | ▲3.8 |
| 平成20年 | 4,779,800 | ▲1.2 | 779,700 | ▲2.8 | 508,000 | ▲5.1 | 271,700 | 2.0 |
| 平成21年 | 4,863,800 | 1.8 | 721,800 | ▲7.4 | 430,500 | ▲15.3 | 291,300 | 7.2 |
| 平成22年 | 5,256,900 | 8.1 | 851,400 | 18.0 | 558,300 | 29.7 | 293,100 | 0.6 |
| 平成23年 | 5,182,900 | ▲1.4 | 761,800 | ▲10.5 | 434,000 | ▲22.3 | 327,800 | 11.8 |
| 平成24年 | 5,102,100 | ▲1.6 | 850,800 | 11.7 | 560,300 | 29.1 | 290,500 | ▲11.4 |
| 平成25年 | 5,154,000 | 1.0 | 924,000 | 8.6 | 620,500 | 10.7 | 303,500 | 4.5 |
| 平成26年 | 5,389,400 | 4.6 | 917,400 | ▲0.7 | 632,200 | 1.9 | 285,200 | ▲6.0 |
| 平成27年 | 5,653,900 | 4.9 | 1,039,900 | 13.4 | 742,600 | 17.5 | 297,300 | 4.2 |
| 平成28年 | 5,812,600 | 2.8 | 910,900 | ▲12.4 | 636,300 | ▲14.3 | 274,600 | ▲7.6 |
| 平成29年 | 6,124,800 | 5.4 | 952,900 | 4.6 | 658,100 | 3.4 | 294,800 | 7.4 |
| 平成30年 | 6,202,900 | 1.3 | 852,500 | ▲10.5 | 563,300 | ▲14.4 | 289,200 | ▲1.9 |
| 令和元年 | 6,191,200 | ▲0.2 | 726,600 | ▲14.8 | 457,200 | ▲18.8 | 269,400 | ▲6.8 |

図4 個人客・団体客の推移

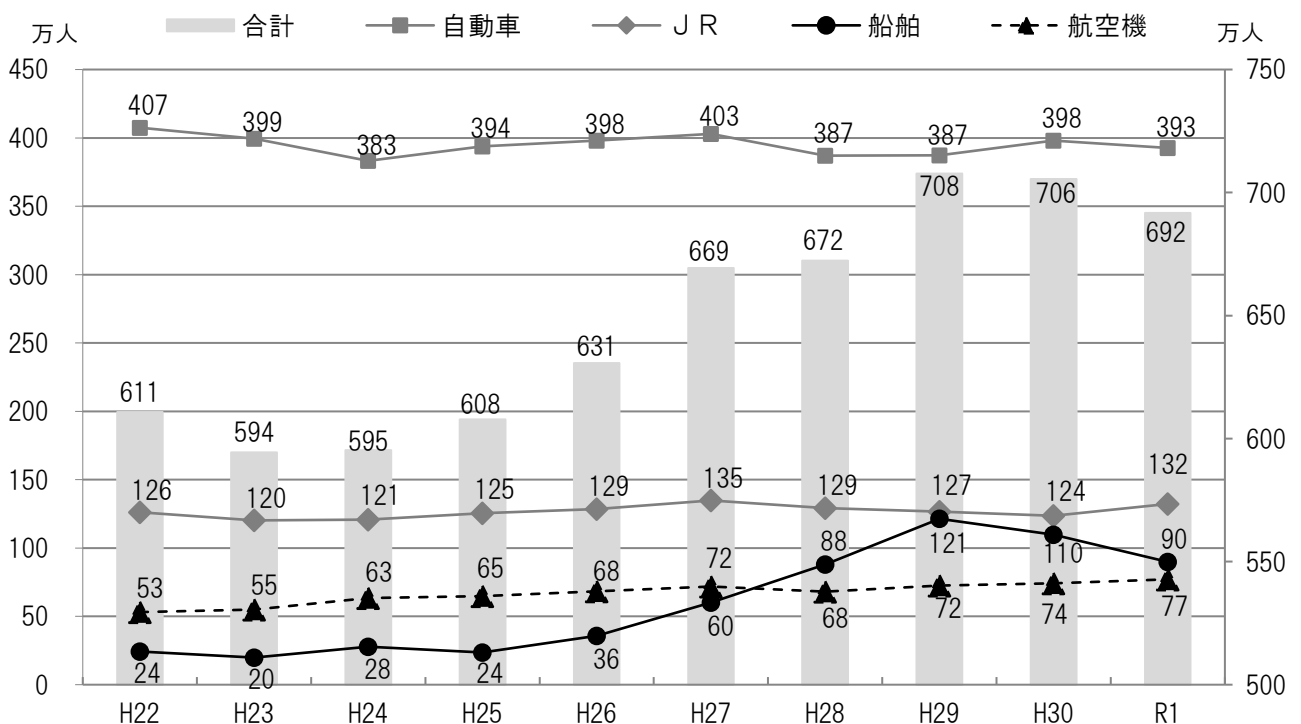


7 交通機関別観光客数の推移

【単位：人、％】

| 年 | J R | | 自動車 | | 船舶 | | 航空機 | |
|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|---------|-------|
| | 観光客数 | 前年比増減 | 観光客数 | 前年比増減 | 観光客数 | 前年比増減 | 観光客数 | 前年比増減 |
| 平成17年 | 1,294,600 | ▲0.6 | 3,258,400 | 14.9 | 225,900 | 25.8 | 614,600 | ▲0.3 |
| 平成18年 | 1,297,500 | 0.2 | 3,530,100 | 8.3 | 239,200 | 5.9 | 632,500 | 2.9 |
| 平成19年 | 1,260,200 | ▲2.9 | 3,566,000 | 1.0 | 219,400 | ▲8.3 | 595,300 | ▲5.9 |
| 平成20年 | 1,262,500 | 0.2 | 3,533,800 | ▲0.9 | 191,400 | ▲12.8 | 571,800 | ▲3.9 |
| 平成21年 | 1,191,600 | ▲5.6 | 3,639,000 | 3.0 | 222,100 | 16.0 | 532,900 | ▲6.8 |
| 平成22年 | 1,260,400 | 5.8 | 4,074,700 | 12.0 | 242,200 | 9.0 | 531,000 | ▲0.4 |
| 平成23年 | 1,201,900 | ▲4.6 | 3,994,900 | ▲2.0 | 198,300 | ▲18.1 | 549,600 | 3.5 |
| 平成24年 | 1,207,900 | 0.5 | 3,832,000 | ▲4.1 | 278,300 | 40.3 | 634,700 | 15.5 |
| 平成25年 | 1,253,900 | 3.8 | 3,938,700 | 2.8 | 236,500 | ▲15.0 | 648,900 | 2.2 |
| 平成26年 | 1,285,800 | 2.5 | 3,979,300 | 1.0 | 358,500 | 51.6 | 683,200 | 5.3 |
| 平成27年 | 1,347,700 | 4.8 | 4,028,300 | 1.2 | 600,600 | 67.5 | 717,200 | 5.0 |
| 平成28年 | 1,291,700 | ▲4.2 | 3,870,900 | ▲3.9 | 879,200 | 46.4 | 681,700 | ▲4.9 |
| 平成29年 | 1,266,400 | ▲2.0 | 3,872,800 | 0.1 | 1,213,600 | 38.0 | 724,900 | 6.3 |
| 平成30年 | 1,236,000 | ▲2.4 | 3,979,400 | 2.8 | 1,098,200 | ▲9.5 | 741,800 | 2.3 |
| 令和元年 | 1,323,300 | 7.0 | 3,926,200 | ▲1.3 | 897,700 | ▲18.3 | 770,600 | 3.9 |

図6 交通機関別観光客数の推移



8 クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

(1) 国内・国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

| 平成29年 | | 平成30年 | | 令和元年 | | |
|-------|-----------|-------|---------|------|---------|-------|
| 隻数 | 推計 | 隻数 | 推計 | 隻数 | 推計 | 前年比増減 |
| 267 | 1,052,455 | 220 | 936,046 | 183 | 732,538 | ▲21.7 |

(2) 国内クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

| 平成29年 | | 平成30年 | | 令和元年 | | |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 隻数 | 推計 | 隻数 | 推計 | 隻数 | 推計 | 前年比増減 |
| 4 | 2,918 | 4 | 2,748 | 4 | 3,272 | 19.1 |

(3) 国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

① 乗客数

【単位：人、％】

| 順位 | 平成29年 | | 平成30年 | | 令和元年 | | |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| | 国・地域 | 推計 | 国・地域 | 推計 | 国・地域 | 推計 | 構成比 |
| 1 | 中国 | 687,386 | 中国 | 627,789 | 中国 | 460,104 | 84.0 |
| 2 | 日本 | 13,652 | 台湾 | 11,756 | 台湾 | 18,094 | 3.3 |
| 3 | アメリカ | 13,495 | アメリカ | 10,082 | 日本 | 17,116 | 3.1 |
| 4 | 台湾 | 11,589 | 日本 | 9,186 | アメリカ | 14,997 | 2.7 |
| 5 | オーストラリア | 7,623 | オーストラリア | 8,646 | オーストラリア | 8,598 | 1.6 |
| - | その他 | 33,311 | その他 | 30,075 | その他 | 28,674 | 5.3 |
| 計 | - | 767,056 | - | 697,534 | - | 547,583 | 100.0 |

② 乗務員数

【単位：人、％】

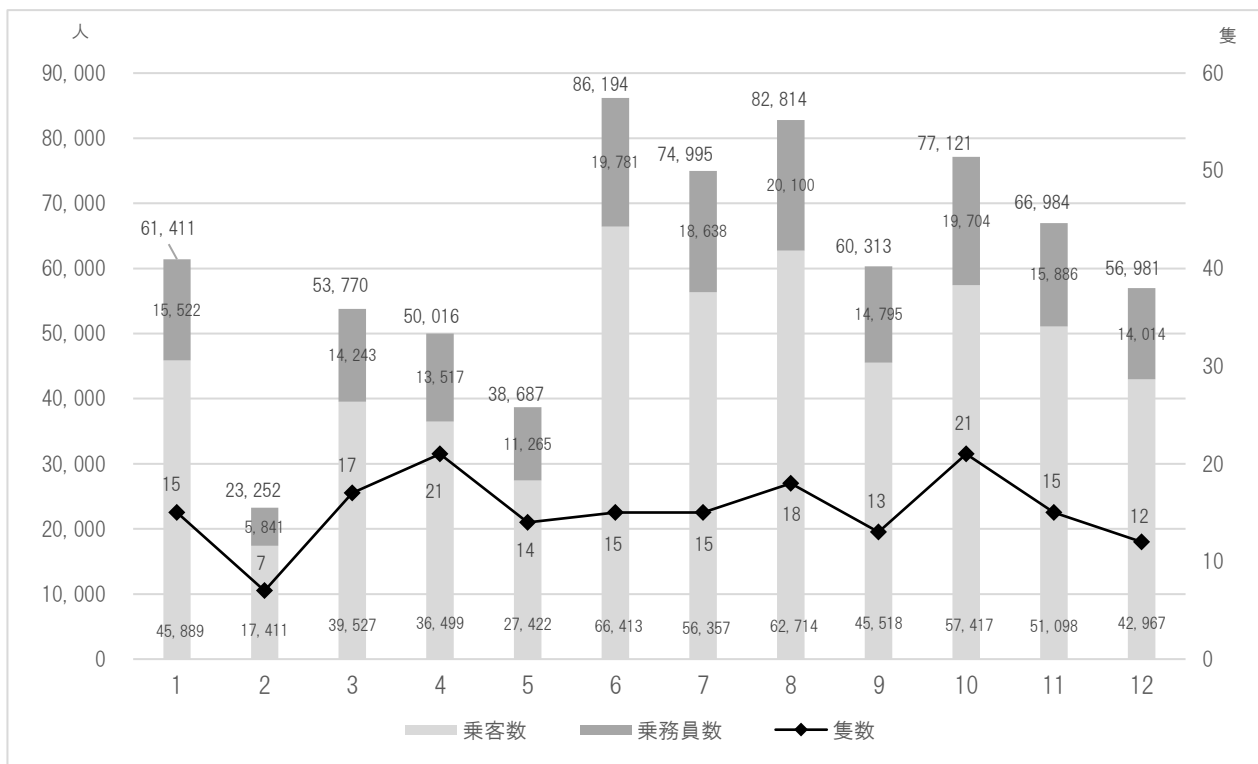
| 平成29年 | | 平成30年 | | 令和元年 | | |
|-------|---------|-------|---------|------|---------|-------|
| 国・地域 | 推計 | 国・地域 | 推計 | 国・地域 | 推計 | 前年比増減 |
| - | 282,481 | - | 235,764 | - | 181,683 | ▲22.9 |

③ 乗客・乗務員数(①+②)

【単位：隻、人、％】

| 平成29年 | | 平成30年 | | 令和元年 | | |
|-------|-----------|-------|---------|------|---------|-------|
| 隻数 | 推計 | 隻数 | 推計 | 隻数 | 推計 | 前年比増減 |
| 263 | 1,049,537 | 216 | 933,298 | 179 | 729,266 | ▲21.9 |

図7 月別クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

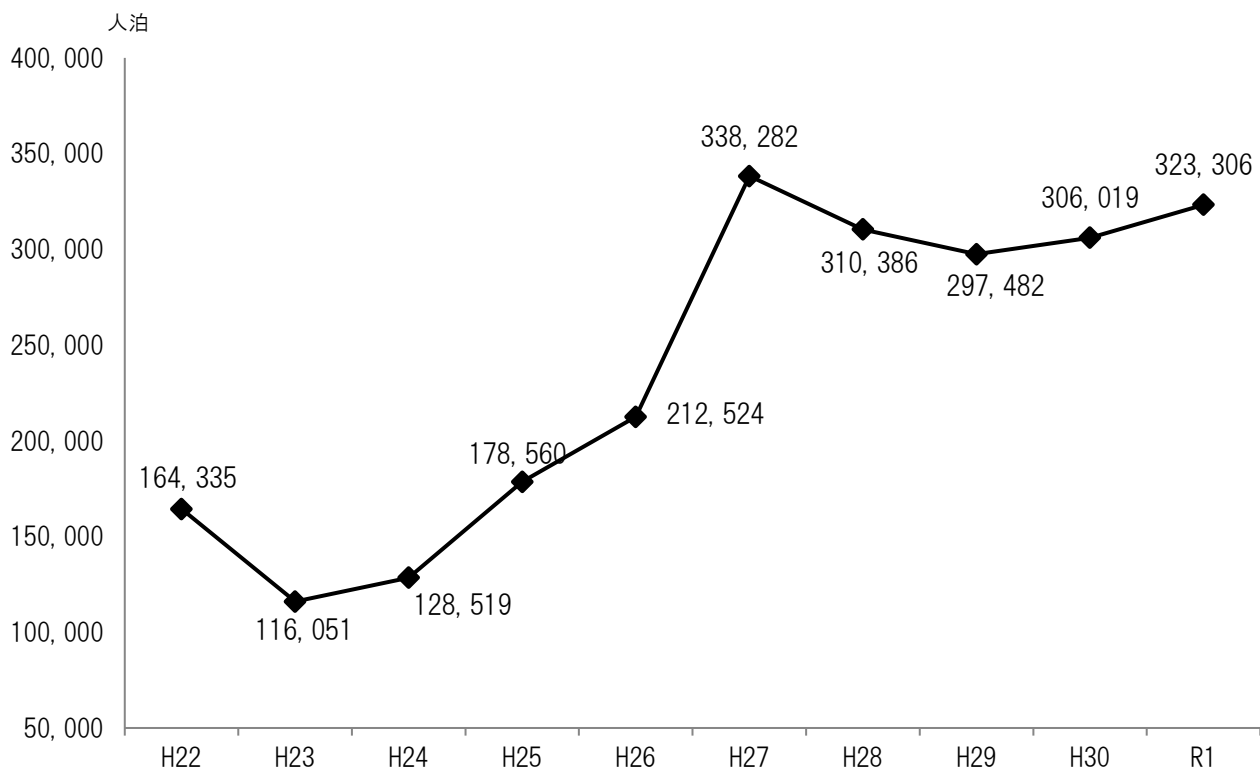


9 外国人延べ宿泊者数の推移

【単位：人泊、％】

| 年 | 外国人延べ宿泊者数 | 前年比増減 |
|-------|-----------|-------|
| 平成17年 | 111,766 | 16.9 |
| 平成18年 | 136,606 | 22.2 |
| 平成19年 | 166,750 | 22.1 |
| 平成20年 | 167,294 | 0.3 |
| 平成21年 | 163,395 | ▲ 2.3 |
| 平成22年 | 164,335 | 0.6 |
| 平成23年 | 116,051 | ▲29.4 |
| 平成24年 | 128,519 | 10.7 |
| 平成25年 | 178,560 | 38.9 |
| 平成26年 | 212,524 | 19.0 |
| 平成27年 | 338,282 | 59.2 |
| 平成28年 | 310,386 | ▲ 8.2 |
| 平成29年 | 297,482 | ▲ 4.2 |
| 平成30年 | 306,019 | 2.9 |
| 令和元年 | 323,306 | 5.6 |

図8 外国人延べ宿泊者数の推移

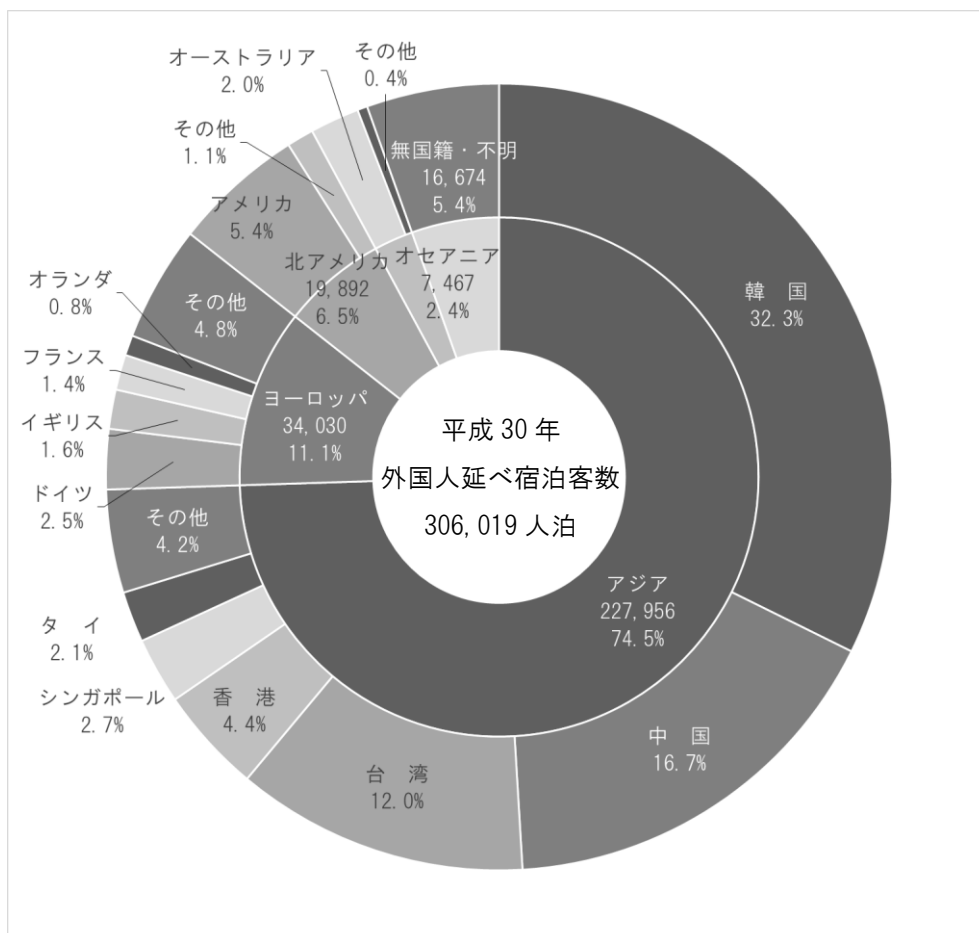
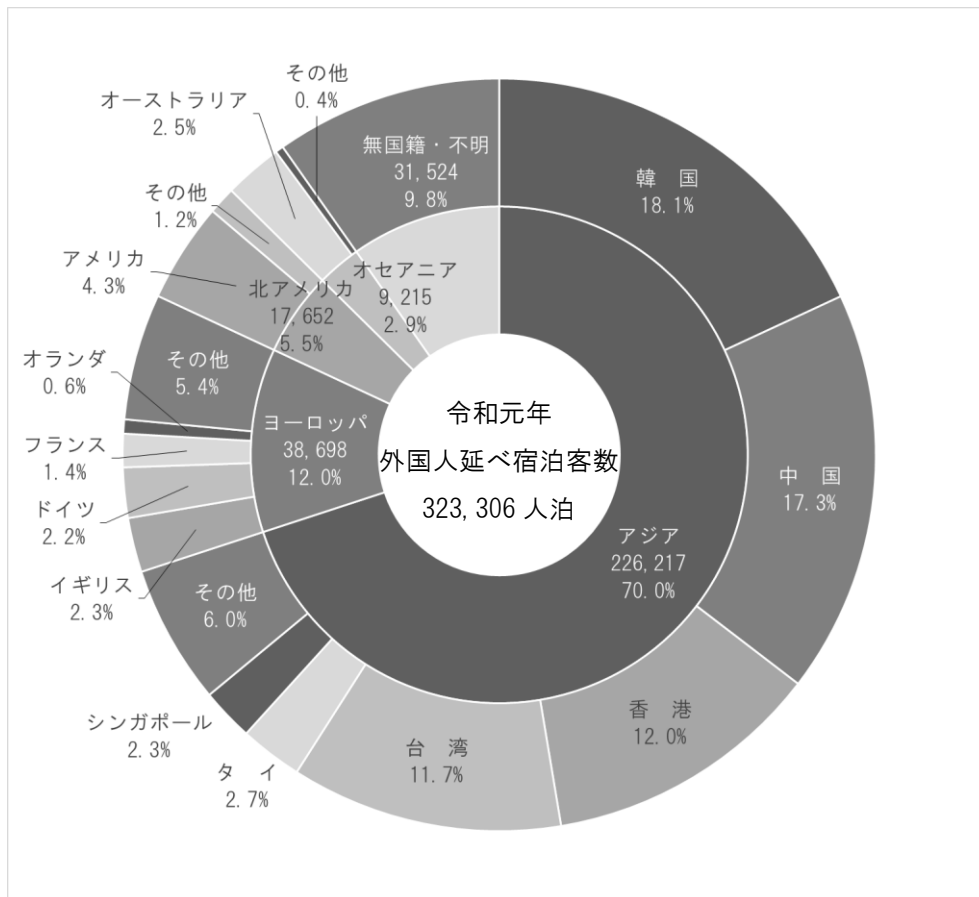


10 国・地域別外国人延べ宿泊者数

【単位：人泊、％】

| 順位 | 平成29年 | | 平成30年 | | 令和元年 | | | |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|
| | 国・地域 | 推計 | 国・地域 | 推計 | 国・地域 | 推計 | 構成比 | 前年比増減 |
| 1 | 韓国 | 83,920 | 韓国 | 98,875 | 韓国 | 58,454 | 18.1 | ▲40.9 |
| 2 | 台湾 | 52,604 | 中国 | 51,228 | 中国 | 56,029 | 17.3 | 9.4 |
| 3 | 中国 | 47,745 | 台湾 | 36,814 | 香港 | 38,667 | 12.0 | 190.5 |
| 4 | アメリカ | 16,197 | アメリカ | 16,494 | 台湾 | 37,730 | 11.7 | 2.5 |
| 5 | 香港 | 13,746 | 香港 | 13,312 | アメリカ | 13,837 | 4.3 | ▲16.1 |
| 6 | タイ | 7,831 | シンガポール | 8,354 | タイ | 8,697 | 2.7 | 36.0 |
| 7 | シンガポール | 5,265 | ドイツ | 7,559 | オーストラリア | 8,083 | 2.5 | 30.1 |
| 8 | フィリピン | 4,903 | タイ | 6,396 | イギリス | 7,565 | 2.3 | 53.5 |
| 9 | ドイツ | 4,194 | オーストラリア | 6,212 | シンガポール | 7,307 | 2.3 | ▲12.5 |
| 10 | オーストラリア | 3,957 | イギリス | 4,927 | マレーシア | 7,177 | 2.2 | 196.8 |
| 11 | イギリス | 3,778 | フィリピン | 4,560 | ドイツ | 6,983 | 2.2 | ▲7.6 |
| 12 | オランダ | 2,826 | フランス | 4,437 | フィリピン | 4,882 | 1.5 | 7.1 |
| 13 | フランス | 2,588 | カナダ | 2,571 | フランス | 4,623 | 1.4 | 4.2 |
| 14 | インドネシア | 2,326 | オランダ | 2,540 | カナダ | 3,136 | 1.0 | 22.0 |
| 15 | カナダ | 1,993 | マレーシア | 2,418 | インドネシア | 2,101 | 0.6 | ▲0.5 |
| - | その他 | 43,609 | その他 | 39,322 | その他 | 58,035 | 17.9 | 47.6 |
| 計 | | 297,482 | | 306,019 | | 323,306 | 100.0 | 5.6 |

図9 国・地域別外国人延べ宿泊者数構成



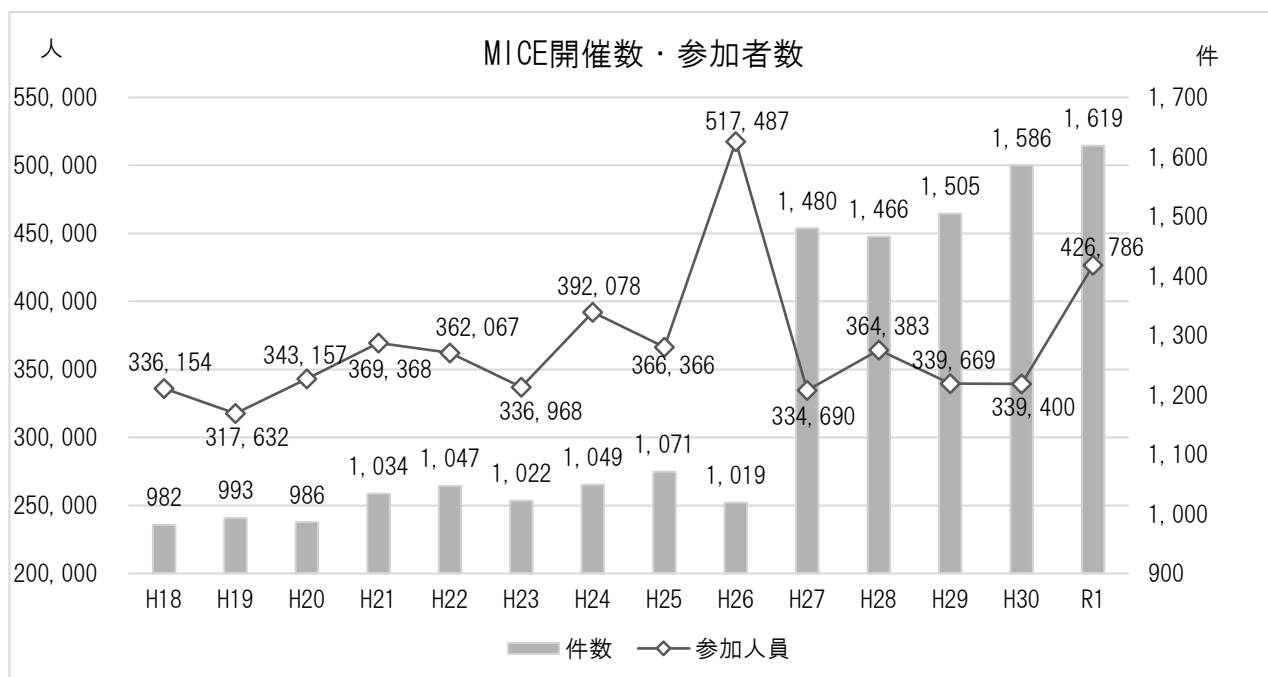
11 MICE統計

(1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

| 年 | 件数 | 開催種別 | | 参加人員 | 参加人員種別 | |
|-------|-------|---------------|-------------|---------|---------------|-------------|
| | | 文化・学術コンベンション等 | スポーツコンベンション | | 文化・学術コンベンション等 | スポーツコンベンション |
| 平成18年 | 982 | — | — | 336,154 | — | — |
| 平成19年 | 993 | — | — | 317,632 | — | — |
| 平成20年 | 986 | — | — | 343,157 | — | — |
| 平成21年 | 1,034 | — | — | 369,368 | — | — |
| 平成22年 | 1,047 | — | — | 362,067 | — | — |
| 平成23年 | 1,022 | — | — | 336,968 | — | — |
| 平成24年 | 1,049 | 745 | 304 | 392,078 | 190,189 | 201,889 |
| 平成25年 | 1,071 | 768 | 303 | 366,366 | 178,127 | 188,239 |
| 平成26年 | 1,019 | 797 | 222 | 517,487 | 157,259 | 360,228 |
| 平成27年 | 1,480 | 1,246 | 234 | 334,690 | 199,230 | 135,460 |
| 平成28年 | 1,466 | 1,217 | 249 | 364,383 | 188,083 | 176,300 |
| 平成29年 | 1,505 | 1,214 | 291 | 339,669 | 187,292 | 152,377 |
| 平成30年 | 1,586 | 1,323 | 263 | 339,400 | 191,288 | 148,112 |
| 令和元年 | 1,619 | 1,313 | 306 | 426,786 | 256,127 | 170,659 |

図10 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



(2) 規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

| 規模 | 件数 | | | | 参加人員 | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|
| | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 前年比増減 | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 前年比増減 |
| 100人未満 | 778 | 684 | 52.1 | ▲12.1 | 40,372 | 36,405 | 14.2 | ▲9.8 |
| 100人以上～300人未満 | 412 | 458 | 34.9 | 11.2 | 63,717 | 68,835 | 26.9 | 8.0 |
| 300人以上～500人未満 | 74 | 101 | 7.7 | 36.5 | 25,682 | 34,892 | 13.6 | 35.9 |
| 500人以上～1,000人未満 | 35 | 39 | 3.0 | 11.4 | 22,256 | 24,539 | 9.6 | 10.3 |
| 1,000人以上～2,000人未満 | 15 | 21 | 1.6 | 40.0 | 17,003 | 26,816 | 10.5 | 57.7 |
| 2,000人以上 | 9 | 10 | 0.7 | 11.1 | 22,258 | 64,640 | 25.2 | 190.4 |
| 計 | 1,323 | 1,313 | 100.0 | ▲0.8 | 191,288 | 256,127 | 100.0 | 33.9 |

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

| 規模 | 件数 | | | | 参加人員 | | | |
|-------------------|-------|------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|
| | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 前年比増減 | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 前年比増減 |
| 100人未満 | 26 | 43 | 14.1 | 65.4 | 1,402 | 2,306 | 1.3 | 64.5 |
| 100人以上～300人未満 | 88 | 112 | 36.6 | 27.3 | 14,859 | 19,465 | 11.4 | 31.0 |
| 300人以上～500人未満 | 51 | 49 | 16.0 | ▲3.9 | 18,170 | 17,393 | 10.2 | ▲4.3 |
| 500人以上～1,000人未満 | 61 | 59 | 19.3 | ▲3.3 | 38,878 | 36,788 | 21.6 | ▲5.4 |
| 1,000人以上～2,000人未満 | 25 | 32 | 10.4 | 28.0 | 29,224 | 39,635 | 23.2 | 35.6 |
| 2,000人以上 | 12 | 11 | 3.6 | ▲8.3 | 45,579 | 55,072 | 32.3 | 20.8 |
| 計 | 263 | 306 | 100.0 | 16.3 | 148,112 | 170,659 | 100.0 | 15.2 |

(3) 大会規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

| 規模 | 件数 | | | | 参加人員 | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|
| | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 前年比増減 | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 前年比増減 |
| 県内大会 | 1,011 | 1,008 | 76.8 | ▲0.3 | 125,256 | 147,770 | 57.7 | 18.0 |
| 九州大会 | 134 | 139 | 10.6 | 3.7 | 29,756 | 22,917 | 8.9 | ▲23.0 |
| 西日本大会 | 15 | 15 | 1.1 | 0.0 | 2,977 | 1,781 | 0.7 | ▲40.2 |
| 全国大会 | 153 | 130 | 9.9 | ▲15.0 | 28,514 | 40,463 | 15.8 | 41.9 |
| 国際大会 | 10 | 21 | 1.6 | 110.0 | 4,785 | 43,196 | 16.9 | 802.7 |
| 計 | 1,323 | 1,313 | 100.0 | ▲0.8 | 191,288 | 256,127 | 100.0 | 33.9 |

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

| 規模 | 件数 | | | | 参加人員 | | | |
|-------|-------|------|-------|--------|---------|---------|-------|--------|
| | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 前年比増減 | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 前年比増減 |
| 県内大会 | 185 | 216 | 70.6 | 16.8 | 89,599 | 103,774 | 60.8 | 15.8 |
| 九州大会 | 48 | 61 | 19.9 | 27.1 | 24,319 | 24,674 | 14.5 | 1.5 |
| 西日本大会 | 8 | 3 | 1.0 | ▲62.5 | 4,480 | 1,800 | 1.0 | ▲59.8 |
| 全国大会 | 20 | 26 | 8.5 | 30.0 | 29,494 | 40,411 | 23.7 | 37.0 |
| 国際大会 | 2 | 0 | 0.0 | ▲100.0 | 220 | 0 | 0.0 | ▲100.0 |
| 計 | 263 | 306 | 100.0 | 16.3 | 148,112 | 170,659 | 100.0 | 15.2 |

(4) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

| 月 | 件数 | | | 参加人員 | | |
|-----|-------|-------|-------|---------|---------|-------|
| | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 | 平成30年 | 令和元年 | 構成比 |
| 1月 | 98 | 114 | 7.0 | 16,368 | 16,885 | 4.0 |
| 2月 | 135 | 135 | 8.3 | 20,515 | 26,450 | 6.2 |
| 3月 | 90 | 110 | 6.8 | 27,909 | 34,874 | 8.2 |
| 4月 | 96 | 74 | 4.6 | 19,629 | 39,538 | 9.3 |
| 5月 | 141 | 53 | 3.3 | 25,762 | 13,221 | 3.1 |
| 6月 | 151 | 177 | 10.9 | 38,110 | 39,169 | 9.2 |
| 7月 | 148 | 169 | 10.4 | 34,733 | 41,018 | 9.6 |
| 8月 | 123 | 148 | 9.2 | 33,339 | 45,757 | 10.7 |
| 9月 | 152 | 115 | 7.1 | 30,787 | 32,900 | 7.7 |
| 10月 | 163 | 168 | 10.4 | 36,554 | 35,973 | 8.4 |
| 11月 | 177 | 244 | 15.1 | 35,802 | 76,897 | 18.0 |
| 12月 | 112 | 112 | 6.9 | 19,892 | 24,104 | 5.6 |
| 計 | 1,586 | 1,619 | 100.0 | 339,400 | 426,786 | 100.0 |

12 経済波及効果

直接効果から間接 2 次波及効果までを合計した総合効果 2,117 億円が、「令和元年に長崎市を訪れた観光客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）1,268 億円の約 1.67 倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

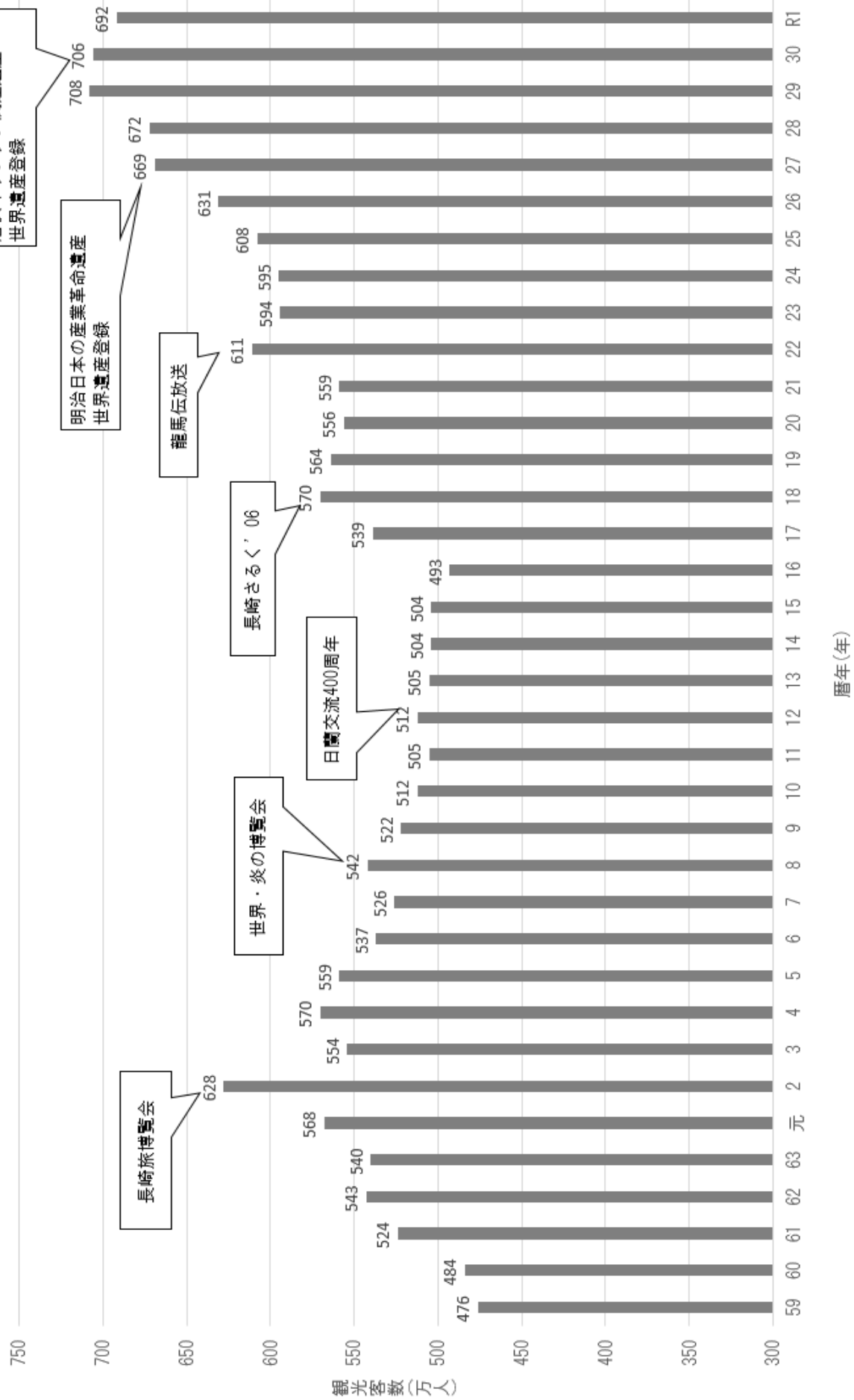
雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で 24,816 人と推計され、産業部門別で効果が大きいのは「飲食・娯楽サービス(11,883 人)」、「商業(4,192 人)」、「宿泊業(3,340 人)」である。

【単位：億円、人、％】

| 項目 | 平成 30 年 | 令和元年 | 前年比増減 |
|----------------|---------|--------|-------|
| | | | |
| 総合効果 (①+②) | 2,292 | 2,117 | ▲ 7.6 |
| 直接効果…① | 1,323 | 1,268 | ▲ 4.2 |
| 飲食・娯楽サービス | 837 | 754 | ▲ 9.9 |
| 宿泊業 | 255 | 299 | 17.3 |
| 商業ほか | 231 | 215 | ▲ 6.9 |
| 波及効果…② | 969 | 849 | ▲12.4 |
| 間接 1 次波及効果 | 555 | 538 | ▲ 3.1 |
| 間接 2 次波及効果 | 414 | 311 | ▲24.9 |
| 就業誘発効果(就業者誘発数) | 33,448 | 24,186 | ▲27.7 |

参 考 资 料

1 観光客数の推移



2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

| 施設名 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 前年比増減 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | | | | |
| グラバー園 | 1,005,343 | 968,497 | 852,826 | ▲11.9 |
| 出島 | 500,345 | 543,981 | 500,811 | ▲7.9 |
| 原爆資料館 | 711,324 | 673,617 | 737,772 | 9.5 |
| 計 | 2,217,012 | 2,186,095 | 2,091,409 | ▲4.3 |

※ 入場者数には無料入場者も含む。

3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

(1) 集客数

【単位：人、％】

| イベント名 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 前年比増減 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | | | | |
| 長崎ランタンフェスティバル | 940,000 | 1,060,000 | 980,000 | ▲7.5 |
| 長崎帆船まつり | 212,000 | 275,000 | 226,000 | ▲17.8 |
| 計 | 1,152,000 | 1,335,000 | 1,206,000 | ▲9.7 |

(2) 経済波及効果

【単位：千円、％】

| イベント名 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 前年比増減 |
|---------------|------------|------------|------------|-------|
| | | | | |
| 長崎ランタンフェスティバル | 9,385,000 | 10,354,000 | 9,238,000 | ▲10.8 |
| 長崎帆船まつり | 959,000 | 1,045,000 | 991,000 | ▲5.2 |
| 計 | 10,344,000 | 11,399,000 | 10,229,000 | ▲10.3 |

4 宿泊施設の状況

(1) 種別による部屋数及び収容人員(平成31年4月1日現在)

【単位：軒、室、人】

| 種別 | 施設数 | 室数 | | | | 収容人員 | | | |
|--------------------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | 和室 | 洋室 | 和洋室 | 計 | 和室 | 洋室 | 和洋室 | 計 |
| ホテル | 33 | 116 | 2,560 | 105 | 2,781 | 671 | 5,315 | 556 | 6,542 |
| 旅館 | 32 | 574 | 79 | 53 | 706 | 2,273 | 132 | 280 | 2,685 |
| ビジネスホテル | 27 | 50 | 2,368 | 8 | 2,426 | 148 | 3,578 | 37 | 3,763 |
| 民宿・ ペンション | 43 | 212 | 67 | 21 | 300 | 469 | 196 | 40 | 705 |
| ユースホテル ・ ホテル | 7 | 27 | 28 | 10 | 65 | 111 | 132 | 45 | 288 |
| 公営宿泊施設 ・ 保養所 | 14 | 90 | 114 | 19 | 223 | 416 | 536 | 118 | 1,070 |
| 計 | 156 | 1,069 | 5,216 | 216 | 6,501 | 4,088 | 9,889 | 1,076 | 15,053 |

(2) 種別・規模別の宿泊施設数(平成31年4月1日現在)

【単位：軒】

| 種別 | 50人未満 | 50人以上 | 100人以上 | 200人以上 | 300人以上 | 400人以上 | 500人以上 | 計 |
|--------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| | | 100人未満 | 200人未満 | 300人未満 | 400人未満 | 500人未満 | | |
| ホテル | 8 | 4 | 7 | 5 | 6 | 1 | 2 | 33 |
| 旅館 | 21 | 5 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 32 |
| ビジネスホテル | 5 | 9 | 6 | 5 | 1 | 1 | 0 | 27 |
| 民宿・ ペンション | 40 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 43 |
| ユースホテル ・ ホテル | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 公営宿泊施設 ・ 保養所 | 7 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| 計 | 86 | 25 | 19 | 12 | 8 | 4 | 2 | 156 |

令和元年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-0031

長崎市桜町 4-1 (長崎商工会館 4 階)

電話番号 095-829-1152

FAX 番号 095-829-1232

発行：令和 2 年 9 月



長 崎 市